

## 令和6年度第4回 番組審議会議事録

令和7年2月21日

玉島テレビ放送株式会社

1. 開催年月日 令和7年2月14日(金)  
19時～20時30分
2. 開催場所 玉島テレビ放送株式会社役員室

### 3. 委員の参加

委員総数：8名 参加：8名

出席委員の氏名

委員長	三宅 真一
委員	井上 全悠
委員	片山 奈美
委員	河原 素
委員	神崎 恵子
委員	北原 映子
委員	中田 裕一
委員	原田 理絵

玉島テレビ放送株式会社側の出席者

専務取締役	猪木 直樹
制作部部长	二宮 丈晴
制作部課長	佐藤 慎一
制作部	川村 密善

### 4. 前回頂いた御意見について

「地域大好き番組 まにみち manimichi」の番組審議につきまして、短時間で見やすかった、歴史系の番組が多く違いを明確化しては、など様々なご意見を頂きました。頂いた御意見をもとに見やすい番組とは何か、又、番組の特色や個性をより出していくにはどうするか、を考え更なる番組クオリティの向上

を目指していきます。

「憲法から考える」の番組審議では、内容の見づらさ、難しさについて多くの御意見を頂きました。講師の意思もあり、内容の短縮が出来ない場合がありますが、まずは番組を見続けていただくことを第一に考え、内容を分かりやすく、かつ短くまとめるように編集していく予定です。

## 5. 議 題

【「玉島・船穂版ゆく年くる年」「パパママ応援番組 たまっチフナッチ」について】

<番組の意図>

「玉島・船穂版ゆく年くる年」

大晦日に玉島・船穂にある神社仏閣から生中継をし、新年を迎える玉島・船穂を生放送でお伝えします。参拝者の方にインタビューし、昨年のお思い出や新年の抱負を伺ったりして、生の声をお届けしています。

「パパママ応援番組 たまっチフナッチ」

この番組は、2023年に玉島テレビ開局40周年を迎えたことをきっかけとして、これからも長く地域の人に愛されるテレビ局である為に、という思いで子育て応援番組を立ち上げました。

というのも、玉島・船穂エリアでは現在、新たに引っ越して来られた方や新築戸建てを求めるファミリー層が急増しています。

もともと玉島・船穂に住んでいる方でしたら、何処にどんな保育園があつて、どんな幼稚園があつて、どういう特色があるのか、が分かると思うのですが、新たに来られた方々は全く分からない、ということもあるかと思えます。その中で孤立化であつたりを防ぐためにも育児情報を届けられる番組を放送したい、ということで立ち上げた番組となります。

<委員意見>

【「玉島・船穂版ゆく年くる年」についての御感想・御意見】

○色々な場所の中継を見させてもらって、今こんなことしているのか、行ってみようかなというふうになるかなというのは、やはり生中継の良さ

だと感じた。現場には行けない人でも、年越しを生中継で感じられるのかなと感じた。5カ所あるので、どんどん場面が変わり、どこの中継かわかりづらい場面もあった。

- 初めて見て、単純に面白いなと思った。ここでお汁粉を出しているといった情報を知ると、単純に行きたいなと思った。インタビューの質問が難しいなと思った。小さいお子さんに「今年の目標は？」と言われてもとっさに答えられない。「来年勉強で頑張りたいことは何ですか？」など具体的な質問の方が答えやすいのではないか。インタビューの内容をもう少し考えた方がいいのではと思った。中継の5カ所を5画面でつなぐとか、そんなのがあっても面白い。船穂神社の中継はすごく面白かった。
- 何年か前に見た時は中継箇所がもっと少なかったと思う。こんなにたくさん場所から中継できるようになり、すごいなと思った。私は、ぱっぱと中継が切り替わるのが見やすかった。インタビューする相手が答えなかったり、逃げたりするのはわかるのだけど、中継が来る前に質問内容などの下準備があったら見やすかった。
- 番組の存在自体は知っていたが、ゆっくりじっくり見たのは初めて。それぞれの神社で何を振舞っているかなど、特色を一気に知ることが出来て、お得感があって良かった。行ったことがない所でどんなことをやっているのかが家にいながら、各地の人出がどんな様子なのかを知れたのがすごく面白くて、家族と一緒に見たが、いろいろな特色を詳しく説明してくれているのが良かった。根っこのついた松を飾っている神社を小田上さんが説明していたが、そういう細かい部分の説明が良かった。ここが今どこの神社かというのが一回一回字幕で出ると分かり易い。時間配分もちょうどいいと思った。飽きることなく楽しく、さっき中継した場所が、次にこうなったんだとか、さっき逃げてた人、結局戻ってきたんだとか、その辺りがすごく面白かった。船穂神社のインタビューの様子が一番面白かった。他のアナウンサーが諦めるところを、相手がどんなリアクションをしても上手にそこを切り抜ける。そういうのがアナウンサー毎に人柄が表れて、すごく面白かった。犬とのやり取りが面白かった。あそこは家族と一緒に見ていて一番盛り上がった。私もカメラを向けられたら顔を隠そうと思うから、他のバラエティ番組で見たことがあるけど、フリップに何を聞きたいか書いてあって、そこに人が集まって回答を書く様子をカメラで撮影するのも面白いかなと思った。最後に四文字熟語のクイズがあることを初めて知った。クイズを見たが、全然わからず、後で調べて勉強になった。

- 今回審議の対象になっている二つの番組、ターゲットがはっきりしているなど思った。「ゆく年くる年」は何が出てくるんだろうという、楽しみな面白さがあった。以前は円乗院に行って、戸島神社に行って、羽黒神社に行って…、みたいなことやっていたけど、年を取るとそんな気力がない。そういう人たちにとって、地元の神社仏閣を紹介してくれる、自分も行けてないけど、参拝者の声も聞いたりすると、自分も行ってみようかなと思ってもらえるような、いい番組だった。大きい放送局がやっているような、パターンの決まっているようなものよりは面白い。
- リアルタイムで見た。全体的に通して楽しかった。5つのお寺、神社を回るというのは良かった。先ほどもあったが、船穂神社のインタビューで、逆に僕は犬にインタビューしてどうするのかな？と思った。犬がマイクをかじって「ワンダフル」っていうのが、あ、これが言いたかったんだなと思いながら、まじめな人がこれをやると面白いんだなと思った。参拝客がまばらだったので、インタビューする人も困っただろうなと思った。パラリンピックの大江選手も来ていたのがびっくりした。息子が言っていたが、「小学校1年生の女の子にインタビューするのはもっと短い方が良いのではないか」と。大人にする質問と子どもにする質問とはもっと簡単にしてよかったのではないか。各神社の特色をもっと掘り下げてもらえたらなと思った。各神社やお寺には説明できる人がいると思うので、そういう人をもっとピックアップした方が良かった。
- 子どもがまだ小学校、中学校だった頃に、生で見えて、行こう！となって行くってパターンがあった。
- オープニングで気になったのが、船穂神社でレポーターが真っ暗な中、ぼつんと一人だけいた。他に誰もいないのか？と感じた。後は、場所のテロップが上に出たら、分かり易いかなというのは感じた。

#### <委員意見>

##### 【「パパママ応援番組 たまっちフナッチ」についての御感想・御意見】

- 見ていて面白くて、この番組はこれから子育てする方々が見てくれたら、幼稚園選びとか、子ども園選びにもすごく役に立つし、良いなと思った。私も県外から来ているので、こんな番組が選ぶときにあったら面白いなと本当に思いました。
- 初めて見た。ナレーションの中桐さん（番組内に登場する人形のニックネーム）、何でこんなにテンション高いのかな？ すごいテンションで

くるんだなど。10分の番組で見やすかったというのはあった。今だったらインターネットで調べると思うが、ネットに出てくる文章と、テレビで問いかける言葉の力というのは、全然違うと思った。場所は知っていても内容的には全く知らなくて、仏教とキリスト教とまったく違うような、こういうところを勉強するんだなどというのは初めて知ったので、自分が行った幼稚園、子どもが行った保育園も見てみたいなどというのはあった。

- とてもわかりやすい。一日の子どもの暮らしだとか、園の方針とかも含めて、すごく丁寧に放送しているのがわかった。人形を使ってやっているのだから、これから幼稚園や保育園へ子どもを、と考えているお母さんが見るときに子どもと一緒に見られるような工夫をしている。時間的にもちょうどいい時間で、良かったなと思った。昔こういう番組があったら、自分も見ていた。他人から聞いたりとか、文字面で調べるより、いい時間帯で生の生活を映してくれる番組って、お父さんお母さんは助かるなと思った。
- 園探しをしている家庭には、すごくありがたい番組だなと思った。情報量が結構たくさん詰め込んであるのでお得だし、小さい子を連れて、ひとつずつ園を渡り歩くのは本当に大変な事だと思うので良いなと思った。それぞれの園の場所や様子を外から見ることにはあるが、カメラが中に入って、園舎の中を探検するような映し方をしているのはすごく良いなと思った。第二敬愛幼稚園には、未就園のクラブがある。その紹介も付け加えてしてくれていたなら、親切かなと思った。園長が園紹介している間、字幕をずっと出してくれていたが、情報量が多いから、最後の一覧表みたいに箇条書きにしてあると見やすいかなと思った。自分が園探しをしている人だとしたら、これまでにどこが紹介されたのか分かったり、ユーチューブ等で、後で見返すことができるといいかなと思った。番組の最後の挨拶がすごく耳に残って、特徴的で面白くていいなと思った。
- 何回か見たことがある。時間的にちょうどいい。内容もすごく幼稚園を選ぶ時に知りたい情報が詰まっていて、預かり保育があるのか、何時までなのか、弁当なのか給食なのかという、すごく重要な情報が入っていて、あと園長先生の顔と声としゃべり、雰囲気わかるのが、すごくありがたいなと思って、自分の子が小さいときに、この番組があったら良かったなあと、本当に思った。幼稚園選びをする年代のお母さん方に見て欲しいが、果たしてここにたどり着いているのかというのが、例えばアプリがあるけど、会員限定。たまテレと契約していないと見れない。

Tver みたいな感じでQRコードを読み込んで・・・、みたいなものがあったら、ちょっとでも見る人が増えるのかな。たまテレアプリを時々見ているが、すごく良いと思ってる。もっともっとアプリを前面に押し出してほしい。

- 10分でまとまっているし、流れがきっちりしているので、すごく見やすかった。内部のリアルな情報を見られるのはすごく良かったなと思った。自分が園探しをしているときにあったら是非見たかったなと思うし、ただ、この番組をその時あったからといって多分ここまでたどり着けていない、見れていないと思う。なので、やっぱりアプリで振り返るのはすごくいいなと思った。入園前に2時間くらいの特集にするとか、アプリで振り返れるというのを知らせてあげたい。
- 子育て広場で仕事をしているが、そこに来るお母さんたちが、これから園選びをするようになる。そういう人たちのところへ、たまテレはこういう園選びの良い番組があるっていうのを発信する方がいいのかな。
- 乙島の子育てサロンでも質問をすごくされます。どんな風に選んだかとか、この園どうだった？とか聞かれるけど、空白があって情報が新しくないので、この番組を紹介したいなと思ったが、たまテレの加入者という、そこがまずひとつのハードルになってしまう。でも、もし加入者であれば、この番組を紹介したいなと思った。
- 1歳の娘がいるので、本当に幼稚園のことが知りたかったので、この番組のことを知らなくて今回見て、10分という長さもすごく良くて自分は当事者で、子育てする年齢で、本当に気になるところで、今回見た以外の他の回も全部見たいと思った。それ、どうやったら見られるんだろうと思ったし、本当に子育てする人にはヒットする番組なんじゃないかなと思って、探している人に紹介したいと感じた。
- この番組って、本当に若いお父さんお母さんに見てもらいたいし、そういう人たちへの宣伝が非常に難しい。子育てサロンなどに積極的にこういう番組があるというお知らせができればいいのかなと思うし、番組が終わった時にアプリの宣伝も必要だと思う。

#### 【自由審議「テレビ離れが進む中でたまテレの求められる役割は？」】

- さっきの流れで言うと、園探しをしている、情報が欲しいお母さんがいるのに、たまテレに入っていないがためにマッチングしない、というのを解消するために、無料体験みたいな、ああいうのがあるといいのではないかな。こんな風に地元密着でアットホームな感じで番組を作っている

んだというのを知れたら、加入のきっかけになるんじゃないかなと思った。

- 地元の幼稚園とか保育園とか、あそこまで紹介できるのは地元のテレビ局しかないと思う。そこが本当に求められる役割というか、たまテレにしか出来ないこと。情報が要る人、情報をあげる人とのマッチングがもつとうまく行かないかなと思っている。私も聞かれる、幼稚園どうやって選んだ？って。絶対そこに行き着く、子育てって。これ見たらわかるのに、これをどういう風にもっていくか。

「たまテレを取ってる？」

「取ってない」

そこで話が終わってしまう。ユーチューブのお試し無料配信みたいなことはできないか。スマホをどうにかしないとどうにもならないという世代だと思うので、頭の切れる人に考えて欲しい。

- 今回、ユーチューブで送ってくれたのはとても助かった。そういうこと。これをどうやってたまテレとして使うか。もう引き戻そうとしても難しいと思う。
- 毎月1日に新聞折り込みで届く番組表、来たときは見るけど、放送日になると忘れていて、で、探すのが大変で、全部の番組を知っていないから、曜日で決めてはどうか。この日は子育て向けとか。たまテレHOT!のピックアップ欄をもっと活かしてほしい。あとは、テレビをつけて見ようというよりユーチューブでポンとやった方が手軽なので。たまテレ自体は見てほしいけど、携帯で見られるように工夫するのが一番。
- テレビ離れが進んでもゼロには絶対ならないと思っているので、やはりいいものを作っていかなければならない。そこから、見逃したりとか、詳しく知りたいからということで、ユーチューブへ繋いだり、関係先のホームページにつなげたりとか、資料の取り寄せとかにつなげたりとか、そのへんの利便性は考えてもいい。今回の子育て応援番組のような役に立つ番組だったら、あの番組を持ってたまテレが出前講座に出て行ってもいいかな。子育て広場に来ている人たちに、見たくなるような情報がたまテレにはあるよというのは、いろんなところにばらまいて行くのも、それはそれで大事なのではないかな。今までやっていないような形の取り組みも考えてもいいのかな。
- 玉島で生活している人の生活に直結している情報はみんなの欲しいところだと思うので、パパママ応援番組は身近に感じられた。あとは、それをどうやって知ってもらおうか。スマホはもう欠かせない。スマホをうまく使っていくのは必要不可欠では。

- 携帯が普及した時代の中で、どういう風にたまテレに誘導するかというのがあるかと思うが、いろんな施設にワイファイがある。その隣にQRコードでたまテレが見れるようにしたら、若い子は見ってしまう。そこから番組に誘導していくというのも面白いかもしれない。
- 本当にテレビ離れだけは止まらない。これはもう社会全体の問題。今、せっかくあるたまテレアプリをどんどん広めていけるようにすればいいのかな。取りあえず、そこからの話。それとQRコードをうまく使っていただければと思います。
- 情報の部分とすると、玉島にいる人が玉島のことを知ろうと思ったら、たまテレを見たら全部わかるみたいな、「やまと」のおはぎがあと何個ぐらい残りがあるとか、今日はどこの食堂が閉まってどこが開いているかいったんにわかる、玉島の人だったらたまテレで玉島の情報は全部わかるぐらいなものを作っていこうっていうのも、それは面白いのかなと思って。
- たまテレを見てもらいたいというのはあるが、まず契約を増やしたいというのを考えたい。
- インスタは？ 2022年から止まっている。絶対若い人はこれしか見ないので、ここは見直してほしい。ここをきっかけにショート動画とかやると、食いつくのはここが一番。何がバズるかわからない。若い人はインスタありきななので。

## 6.

### 次回の議題

諮問についての答申審議

「地域貢献を通じて、玉島・船穂の魅力を再発見！」

## 7. 次回の開催予定

日時：令和7年5月16日(金)19時より

場所：玉島テレビ放送役員室

以上